



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA-

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Mar. 1985. II - 9

THEME (1984~'85)

- I. P. 「今こそ行動のとき」
- R. D. 「限りなき熱情を奉仕に」
- D. G. 「奉仕と誠をもって前進しよう」
- P. 「創ろう新しい伝統を」

1984~1985 役員

会長	中村隆幸	書記	堀利満
副会長	山田孝彦	"	藤井保男
	長安敏夫	会計	柴田健
直前会長	山中秀男	"	浦野啓一
担当主事	田中穰二		

◆「BF」(Brotherhood Fund)強調月間く日本区>

3月例会プログラム

特別懇親例会く新入会員歓迎の会>

とき 3月20日(水) 18:30~20:30

ところ 徐園 (肥後橋 南詰西方向)

〔地下鉄肥後橋下車、
 YMCA土佐堀会館方向左側〕

司会 堀利満君

- | | |
|--------------------|------------------------------------|
| 1. 開会 | 中村会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 瀬戸孝太郎君 |
| 4. ゲスト紹介 | 中村会長 |
| 5. 食前感謝 「日々の糧」 晩さん | 一同 |
| 6. 役員会報告 | 中村会長 |
| 7. スリーミニター | メン・メネット |
| 8. 誕生日のお祝い | 中村会長 |
| 9. ニコニコアワー | |
| 10. 委員会報告・YMCAニュース | |
| 11. 閉会 | 中村会長 |
| ▼ 臨時会費 | メン、メネット、コメット 各2,000円
ゲスト 4,000円 |
| ▼ 例会当番 | (川越、正司、瀬戸、藤本、堀、森) |

◆ 第2例会

とき 3月27日(水) 18:30~20:30

ところ YMCA国際・社会奉仕センター

◆ 誕生日おめでとう

阪田 三枝メネット	3月1日
藤本 史郎君	1941年3月14日
谷川有美子メネット	3月17日
鈴木 謙介君	1912年3月26日

Dear friends, if our hearts do not condemn us, we have confidence before God and receive from him anything we ask, because we obey his commands and do what pleases him. And this is his command: to believe in the name of his Son, Jesus Christ, and so love one another as he commanded us.

愛する者たち、心に責められることがなければ、神の前で確信を持つことができます。また神に願うことは、なんでもかなえられます。わたしたちが神の掟を守り、神のお喜びになることを行なっているからです。その掟とは、(神の子)イエス・キリストの名を信じ、自分たちに命じられていたように、互いに愛し合うことです。

(ヨハネの手紙I、第3章21節~23節)

2月例会出席者(在籍会員 37名)

	第1例会	第2例会	Make up	累計
メン	21名	12名	3名	24名
出席率	56.77%			64.86%
メネット	5名	1名		
コメット	1名			
ゲスト	1名			
ビジター	2名			
計	30名	13名	3名	

◇ゲスト 柴 繁博君(浦野君)

◇ビジター 遊上義一君、中世古為幹君(大阪クラブ)

◇メネット 鈴木、谷川、中村、山田、山中 各メネット

◇コメット 中村 圭ちゃん

◆ BFポイント 86,000円

第1例会の記録

- 当月はTOFの月であり、その主旨を十分理解しての例会にするため、絶食ではあるが、“お茶、程度はということ”で企画したにもかかわらず、30名の参会者により盛況であった。
- 我々の生みの親、大阪クラブより遊上、中世古の両君が出席し、16ミリやスライドによる「アフリカの飢餓」「世界のTOF事業」の映写を共に拝見し、一同とても意義深い例会となった。
- 次期クラブの役員選任について、山中君より経過報告がなされ、次期会長として山田君が推せんされ、三役候補の紹介も同時に行われた。



- また、かねてより谷川君の紹介で毎回出席中の村田貞夫君が、暗れて本入会すべく、中村会長自からのとりなしにより入会式が厳粛に執り行われた。これで当クラブのメンバーも37名となり、いよいよ充実した人容になってきた。



力強く宣誓する 村田君

- 中西部YMCA主催である中世古君より4月末連休の呼子高原ワークキャンプの案内と勧誘があった。

新入会員紹介

村田 貞夫 1937年2月3日生
 るり子 9月15日生
 Sadao Murata, Ruriko
 〒659 芦屋市朝日ヶ丘町3-8-305
 0797-32-9204
 住友生命保険相互会社(生命保険)
 〒530 大阪市北区中之島2-2-5
 06-231-8401

第2例会の記録

1. 3月例会のプログラムの決定
 - 当月は新入会員の歓迎を主目的にクラブ内の一層の融和をはかるため特別懇親例会を開催する。
 - 会場も通常例会と場所を変えて、先般国際役員歓迎会を催した肥後橋の「徐園」にて行う。
2. 4月以降の例会スケジュールについて
 - 4月はワイズメネットの月であり、メネットナイトとして、また5月はリーダートレーニングの月となるため、それぞれにマッチした企画とする。
 - 6月は新旧役員の交替式を中心に行う。
3. 日本区大会の出席について
 - 当クラブからは現在、中村会長をはじめ鈴木夫妻、山田夫妻、杉本、谷川君が出席することになっています。
 - 大会は次のスケジュールで開催されますが、当クラブからも、もっともっと沢山出席しましょう。
 開催日時 6月8日(土) 13時より
 6月9日(日) 11時40分まで
 会場 伊東市観光会館(宿泊はハトヤ)
 登録費 3月31日までメン 28,000円
 メネット 27,000円
4. アジア地区大会(香港)について
 - 6月21日より3日間香港で行われます。締切りは4月30日になっていますが、手続き等すべてをお手伝いしますので書記(堀、藤井)へ申し込んで下さい。
 - この大会で、土佐堀クラブの今村一之君がアジア地区会長に就任される予定です。
5. 呼子高原ワークキャンプについて
 - 4月27日(土)、28日(日)、29日(祝)に2泊3日で開催されます。(詳細は12月ブリテン参照)
 - 各クラブから2名以上参加することになっておりますが、希望者は書記へ申し込んで下さい。
6. 新年合同例会の記念写真について
 - 出演者には全員無料で配布する。
 - アルバムの各写真に番号をセットするので希望者は例会出席時に申込むこと。
7. BFについて
 - 例会当日には必ず古切手を持参することとし、持参しない人はキャッシュポイントでカバーすることになりました。
 - 先般メアヌクラブよりプレゼントを受けた返礼として日本切手をIBC委員を通じて送付する。

「お年玉はがき」のご協力ありがとうございます!!

CS事業の一環として、毎年1月に収集しておりますが、今年は、当クラブから201枚と沢山集まり、大変ありがとうございました。さっそく日本区へ提出しました。なかでも10枚以上と大量に、ご協力された方々は次の通りです。

鈴木 31枚 藤本 15枚 藤井 14枚
 平田 16枚 上月 14枚 山中 11枚
 山田 15枚 田中 14枚 杉本 10枚

今月の聖句によせて

神の掟とは、「イエス・キリストの名を信じ、互いに愛しあうことです」と書かれています。「キリストの名を信ずる」という言葉は、少し判りにくいと思います。これは、神様が、限りなく人類を愛し、人類を誤った道から救うために、ご自分の独り子であるイエス・キリストを、この人類の歴史の中に降し、キリストの言葉や行ないを、聖書を通して知ることにより、そこに端的に表わされている神の愛を人類が理解するようにされたことを信ずるということを意味します。キリストは弱者の味方として、世の中でしいたげられている人びとをあくまでかばい、助ける生き方を貫かれました。その愛の行為の結果は、十字架にかけられるという最も悲惨な事実を招いたのですが、このいのちをかけて具体的に示された神の愛を、私どもは真剣に考えるべきです。

従って、「互いに愛しあう」ということも、唯単に、自分の好みにあう人のみを愛することではなく（そのみならば、その愛は自己本位の愛に終るものです）、汝の敵を愛せよと云われたように、人びとに対し、普遍的な愛をもつことを教えて下さっていると思います。（黒田徹之）

国際役員歓迎の夕

1月29日の夕、大阪YMCA会館近くの「徐園」にて、MYM（於東山荘）のあと関西訪問中の竹内国際会長一行（B・モレル国際会計夫妻、I・ウォリン国際書記長夫妻、カナダのR・ハムリンAP）の歓迎会がありました。当クラブからは、中村会長をはじめ鈴木夫妻、杉本、山田、谷川、松添、松本、森、山村の各メンバーが出席しました。

その晩、I・ウォリン夫妻は、鈴木君宅にて、B・モレル夫妻は谷川君宅にて、各ホームスティしました。なお、国際役員一行は1月26日には京都を訪問し、1988年の国際大会の会場に立候補している、京都国立国際会議場を訪問、夜には、京都地区クラブ主催の歓迎会に出席しました。また、1月28日には穴戸中西部長の奈良を訪問しています。

◆ メネット便り

◎関西合同メネット会へのお誘い

5月25日（土）京都パークホテルにて開催されます。講演テーマは「美しく老いる為に」です。ホストは京都メネット会の皆様です。申し込み日はクラブ毎まとめますので3月30日までに御連絡下さい。詳細は中村メネットまで。

◎日本区大会について

6月8日（土）～9日（日）、メンと一緒に参加し、伊豆でメネットの花も咲かせましょう。

◎メネット強調月間に関して

4月はメネット強調月間となっております。センテニアルはメネットナイトと決まりました。4月17日の第一例会はプログラムの作成、司会、受付、聖句朗読、食事……等総てメネットの力でやってみましょう。一人でも多くのメネットの御力が得られますように。

Y's MEN's INTERNATIONAL
WELCOME RECEPTIONに参加して

松本 常晃

さる1月29日(祝)6時30分より、大阪は、肥後橋にあるチャイニーズ レストラン「徐園」にて「INTERNATIONAL WELCOME RECEPTION」が、土佐堀ワイズメンズクラブのホストによって、催された。今回、来日されている国際役員く17名(メネット含む)の内、国際会計である MORRELL夫妻、国際書記である WALLIN夫妻、そして、APEカナダのHAMLIN氏 3組5名が、大阪に立ち寄られた。レセプションは、中西部のワイズ70名の出席者と共に、土佐堀ワイズの牧口会長のオープニングにはじまり、元国際会長鈴木メンによる乾杯、土佐堀クラブの酒井メネットによる日本舞踊(アンコールがあった)、おりませながら、最後に、谷川メンのスピーチと、約2時間30分にわたり美味しい中華料理を味わいながら、終始、なごやかなふんいきの中、楽しく有意義なレセプションであった。このレセプションの後にMORRELL夫妻は、谷川氏の家で一泊され、東京より香港へと、WALLIN夫妻は、鈴木氏の家で一泊され、大阪よりソウルへと、そして、HAMLIN氏は、国際会長竹内氏と共に、土佐堀ワイズの井沢氏の家で一泊され、竹内氏と共に熱海へと、それぞれの想いをこめて、帰路につかれた。

Mr & Mrs. HORRELL, Mr & Mrs. WALLIN そして Mr. HAMLINは1月24日から、熱海、名古屋、京都、奈良、大阪と各地をまわってこられたが我が「JAPAN」の感想は、いかがかなものであったでしょうか。

最後になりましたが、1月24日より、ずうっとつききりでお世話いただいた国際会長の竹内さん、中西部を代表して、お世話してくださった牧口会長をはじめとする、土佐堀ワイズの皆様方、そして、ホームスティを引き受けていただきました、井沢さん、そして我がセンテニアルの、鈴木さん、谷川さん、どうもありがとうございました。

<私のひとりごと>

昨年、7月より入会させていただいた小生にとっては、ワイズメンズクラブそのもの自体の組織があまりにも大き過ぎて(ちょうど、大きなビルの真前に立った時、その壁しか見えないように)全体がまだまだ霧の中のような。しかしながら、今回のこのような会に出席させていただき、諸先輩方々のスピーチ等を聞くことにより、巨大なビルの入口にたった一歩位であろうが、足を踏み入れる事ができたように思う。今後は、このビルの中に、両足をしっかりと踏み入れ、その各部屋のドアを一つずつ、そっと開けていきたいと思う。

なお、「WELCOME RECEPTION」への当クラブよりの出席者は、中村会長以下、鈴木夫妻、杉本君、谷川君、山田君、松添君、森君、山村君、松本君の合計10名でした。

ワイズメンズクラブに入会して

村田 貞夫

谷川寛兄、有美子姉、私のようなものに対する永年のご友情ありがとうございます。敬愛するあなたがたの、お導きにより、りっぱな会の、りっぱな皆様のお仲間入りが出来まして感謝いたしております。

入会に際して、中村会長よりうけたまわった5つの資格は、むしろ今後の研さんの中で培ちかかっていかなければならないものと、強く身の引き締る思いがいたしました。

思えばはじめて谷川兄よりY'sの事を伺ったのは、奥様共々、箕面教会青年会で一緒であった昭和34年頃であったように思います。その頃私はY'sのことを聴音で「WisE」のあつまりと受け取ってしまっていて、ごく最近まで、そのように思いこみ、私には全く無縁のものだと思っていたような訳でした。今でも皆様を拝見しているところの気持は変わりません。さて、まことに不思議なことに、2月3日生まれの私が期せずして2月入会になったのです。何か偶然のように思いたくありません。私実は4度目の年男で今年は満48才になったばかりですが、人生丁度このへんに区切りをもって、恩返し的人生、奉仕の人生をあゆみたいものだと、ひそかに、願っていたところであります。

ガラテヤ書5・13に「兄弟たちよ、汝らの召されたるは自由を与えられん為なり。ただその自由を肉に従う機会とならず、反えって愛をもて互いに事えよ」とありますが、求めて仕えるはビジネスなり、求めずにひたすら仕えることこそ奉仕であることを覚えて、Y'sの精神にふさわしい働き人になれるよう努めたいと考えております。どうぞ今までにまましてご教導を願います。

私事になりますが、昨年に長い年のよこしまな生活が原因で「のみ喰い」がたたりまして、糖尿病になってしまいました。何とか節制して11kg減量し、今日では、検査上は一応平常値で推移するようになりましたが、私にとって「喰いあらため」は正に「悔い改め」の大きな転期になりました。例会で見たT O Fのことどもは本当に胸のいたみを覚えたと同時に、自らをかえりみて本当に恥しい思いを禁じ得ませんでした。病氣と申しても「一病息災」と云うこともあり、悲観している訳ではありません。このたび呼びかけられたY'smanとして、恥しくない生活であるためには、神から委ねられた肉体を正しく管理し、用いられる年月(寿命)が長かろうが、短かろうが、神のみこころのままに、誠心誠意祈り働くこと以外に、まさるものはないだろうと思っています。懇談の際、元国際会長の鈴木さんが「奉仕は無報酬だけど、年を経れば経るほど大きなよろこびの賜物を神様から賜わる」—(意識)—というようなことを申しておられました。非常に感銘を受けました。

私はY'smanとして、とことん努力したいと念じますが、最後のところは次の聖句により心のやすらぎを得たいと思います。()は私の挿入です。

「あなたのしようとするを主にゆだねよ。(それがみこころならば) そうすればあなたがたの計画はゆるがない」—しんげん 16.3。

◆ ヌアヌクラブのブリテン紹介

われわれのブラザークラブであるハワイ ヌアヌクラブの2月号ブリテンに、先般プレゼントのあった切手に関する当クラブの様子が掲載されておりますので紹介します。

BROTHER CLUB NEWS

by Mel Ishihara

Received Letter from MR. T. MATSUZOE of Osaka-Centennial on January 17, 1985 acknowledge receipt of the 2,100 processed U.S. 20 cent stamps donated by the Nuuanu Y's Men's Club to our brother club. The above photo shows Mr. Matsuzoe passing the stamps to Dr. Nakamura, president of the Osaka club, at their December 1984 meeting. Mr. Matsuzoe also indicated that he will be contacting members in the kansai District concerning the upcoming U.S. Area Convention in Kona. We are attempting to coordinate all matters relating to our brother club members who may be attending the Kona convention (Region and Area). Our response letter will also include registration information as contained in the Y's Alliance bulletin.



YMCAニュース

▽奉仕センター・文化センターの連体強化

これまでから当奉仕センターは新館の国際文化センターと密接な関係を持ちながら諸活動を行って来ましたが、新年は更に連体を深めながら国際団体としてのYMCAの基本的な性格を発揮し、国際社会・地域社会のニーズに応じて諸事業を積極的にすすめることになっていきます。

▽アジアのこことばを学びませんか

当奉仕センターではアジアのこことばとしてお隣りの韓国語講座を行っています。新年度からは中国語・実用タイ語会話・文化講座・マレーシア・インドネシア語・文化講座およびシンハラ語(スリランカ)・文化講座を開設してアジアとの連帯を深めることになりました。受講生をご紹介下さい。詳細は当センターにお問合せ下さい。